

2025 年 9 月 19 日

東急不動産株式会社
株式会社東急イーライフデザイン

台湾におけるシニア向け住宅事業のコンサルティングを開始

～中国信託フィナンシャルホールディング傘下の中国信託樂活へノウハウ提供をスタート～

東急不動産株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：星野 浩明、以下「東急不動産」）のグループ会社でシニア向け住宅事業を手掛ける株式会社東急イーライフデザイン（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：大柴 信吾、以下「当社」）は、台湾の大手金融グループである中国信託フィナンシャルホールディング傘下の中国信託樂活股份有限公司（本社：台北市、董事長：陳國恩、以下「中国信託樂活」）と、台湾における中国信託樂活によるシニア向け住宅事業の新規立ち上げに向けたコンサルティング実施のために業務委託契約（以下「本契約」）を締結しました。

本契約は、2025 年 5 月に中国信託樂活の親会社である台湾人寿保险股份有限公司（本社：台北市、董事長：許舒博、以下「台湾人寿」）と締結した基本合意を基盤としており、当社は 2025 年 8 月に新設された中国信託樂活へシニア向け住宅事業の基礎的ノウハウを提供します。



（写真左より）台湾人寿 総経理：莊中慶氏、中国信託樂活 董事長：陳國恩氏、
株式会社東急イーライフデザイン 代表取締役社長：大柴 信吾、東急不動産株式会社 取締役 常務執行役員：丹下 慎也

■ 本契約に至る背景

台湾は 2020 年に高齢化社会となり、2025 年には超高齢社会※へと移行するとされています（出典：台湾国家発展委員会「最新 2022 至 2070 年人口推估報告」2022 年）。日本では高齢化社会から超高齢社会への移行に約 10 年を要しましたが、台湾では約 5 年で移行するなど、高齢化が著しく進んでいます。

台湾ではシニア向け住宅の供給が限定的で、急速に高まる需要に十分対応できていないのが現状です。今後、同市場の拡大が見込まれる中、台湾人寿はシニア向け住宅事業への参入を検討しており、先進的な日本の知見を台湾での開発に活用したいという要望がありました。

こうした背景から、当社がシニア向け住宅の運営を強みとしていること、そして 20 年以上にわたる運営実績を有している点が高く評価され、本契約締結に至りました。

※台湾の国家発展委員会は、総人口に占める高齢人口（65 歳以上）の割合が 20%を超えた状態を「超高齢社会」と定義しています。

■ 本契約の主な業務内容と今後の展望

本契約では、当社が持つシニア向け住宅事業における基礎的ノウハウを座学研修や現地視察を通じて中国信託樂活に提供します。また市場調査の一環として、中国信託フィナンシャルホールディンググループの一部顧客等に関り、組数限定で当社が国内で運営するシニア向け住宅「グランクレール」シリーズに短期体験宿泊の機会を提供する予定です。これらを中国信託樂活による台湾でのシニア向け住宅事業の新規立ち上げコンサルティングの第一歩としてスタートいたします。

■ 各社概要

<株式会社東急イーライフデザイン>

所在地 東京都渋谷区道玄坂一丁目 10 番 8 号 渋谷道玄坂東急ビル
代表者 代表取締役社長 大柴 信吾
事業内容 高齢者住宅・有料老人ホームの経営・運営・運営受託、高齢者住宅・有料老人ホームに係るコンサルティング等
URL <https://www.e-life-design.co.jp/>

<台湾人壽保險股份有限公司 (Taiwan Life Insurance Co., Ltd.) >

所在地 台北市南港區經貿二路 188 號 8 樓
設立 1947 年 10 月 24 日
代表者 董事長 許舒博
総資産 約 2.3 兆台湾ドル(NTD) (2024 年時点) ※約 10 兆円前後 (日本円換算は為替により変動)
従業員数 約 2,000 名 (2024 年時点)
事業内容 生命保険業、医療保険、年金保険など各種保険商品の販売・サービス提供 等
親会社 中国信託金融控股股份有限公司 (CTBC Financial Holding Co., Ltd.) (100%出資)
URL <https://www.taiwanlife.com/>

<中國信託樂活股份有限公司 (CTBC LOHAS Co., Ltd.) >

所在地 台北市南港區經貿二路 188 號 8 樓
設立 2025 年 8 月 7 日
代表者 董事長 陳國恩
事業内容 シニア向け住宅 (ロハス住宅) の企画・開発・運営、高齢者向け健康管理サービス・生活支援サービスの提供、各種交流イベントや講座の企画運営 等
親会社 台湾人壽保險股份有限公司 (Taiwan Life Insurance Co., Ltd.) (100%出資)

■「グランクレール」シリーズについて

東急イーライフデザインの手掛けるシニア向け住宅「グランクレール」シリーズは、「**私らしくを、いつまでも。**」を事業ステートメントに掲げるシニアのためのライフステージです。ご健康な方が充実した日々を謳歌するシニア住宅、介護が必要なシニアのための介護住宅、同一敷地内にシニア住宅と介護住宅を併設した住宅を展開しており、人生の円熟期を迎えた方々へ向けた安全で安心、質の高いシニアライフの実現が可能な新しい住まいの形を提案しています。東京・神奈川に全 24 住宅を展開しており、2023 年には駅直結の「グランクレール綱島」、2024 年には湾岸エリアの晴海地区に「グランクレール HARUMI FLAG」を開業しました。



グランクレール HARUMI FLAG
(土地：事業者非所有、建物：賃借)



グランクレール綱島
(土地：事業者非所有、建物：賃借)



グランクレール馬事公苑
(土地：賃借)